

# 線維筋痛症・若年性線維筋痛症 シンポジウム



**定員  
100名  
要申込**

## <プログラム>

### 第1部 医療講演会

「若年性線維筋痛症について」

講師：**横田 俊平先生**

国際医療福祉大学熱海病院 院長



### 第2部 シンポジウム

シンポジスト

横田俊平先生

坂田研明先生（熊本リウマチ内科 院長）

難波昌美（若年性線維筋痛症支部支部長・  
若年性線維筋痛症家族）

吉田裕子（線維筋痛症友の会九州支部長・  
線維筋痛症患者）

若年性線維筋痛症患者（予定）

コーディネーター

堀田めぐみ

（熊本県難病相談・支援センター）

**とき 2014年11月2日(日)13:00~16:30**

**会場 (財)熊本県総合保健センター管理棟3階 大会議室**

住所：熊本県熊本市東区東町 4-11-1

**参加費 無料（資料代として会員：500円、一般：1000円）**

主催：NPO 法人線維筋痛症友の会九州支部

後援：熊本県、熊本市、熊本県難病相談・支援センター、NPO 法人熊本県難病支援ネットワーク、熊本市難病・疾病友の会「ポチポチの会」、長期療養中の子どもと暮らす家族の会「くまもとぱれっと」、(公社)日本リウマチ友の会熊本支部、若年性関節リウマチ親の会「あすなる会」、一般社団法人全国膠原病友の会、熊本日日新聞社、NHK熊本放送局



# 若年性線維筋痛症について

小児期にみられる線維筋痛症は「若年性線維筋痛症」といわれ、発症は10才前後に集中しています。男女比は1:4~8と、女兒に多い傾向があります。

症状の中心は「全身の疼痛」にあり、軽く触れただけで激しい疼痛を訴えるアロデニアを特徴としています。これに加えて、原因不明の筋肉痛、関節痛や持続的な頭痛を訴えることも少なくありません

慢性疲労感、睡眠障害、低体温を訴える例は半数以上あり、経過がすすむと異常な発汗、末梢冷感（手足が冷たくなる）、チアノーゼ、四肢の浮腫（むくみ）などの自律神経症状が加わってきます。このため登校障害（不登校）に至る子どもがほとんどです。ときに摂食障害（食思不振症、過食症）に陥る例もあります。

線維筋痛症では他の疾患に伴う疼痛とは異なり臓器・組織の炎症を認めないことが特徴です。

また、一定の身体部位に圧痛（押すと痛い）があります。これが「圧痛点」で、極めて限局しており、この点をわずかにずれても圧痛はでなくなります。

慢性に経過したリウマチ・膠原病患者の一部以外にこの圧痛点を認めることはないので、線維筋痛症の診断の有力な根拠になります。（若年性線維筋痛症支部 きずなの会 HP より）

## 線維筋痛症とは

線維筋痛症とは、全身的慢性疼痛疾患であり、全身に激しい痛みが起こる病気です。

全身や広範囲が痛み、またある部分だけが痛むことがあります。その痛みは軽度のものから激痛まであり、耐え難い痛みであることが多いです。痛みの部位が移動したり、天候によって痛みの強さが変わったりすることもあります。痛みが強いと日常生活に支障をきたすことが多く、重症化すると、軽微の刺激（爪や髪への刺激、温度・湿度の変化、音など）で激痛がはしり、自力での生活は困難になりますが、重症化する前に早めに受診して対策することが必要です。

随伴症状として、こわばり感、倦怠感、疲労感、睡眠障害、抑うつ、自律神経失調、頭痛、過敏性腸炎、微熱、ドライアイ、記憶障害、集中力欠如、レストレスレッグス症候群などが伴う事もあり、症状は個人差があります。中には、リウマチや他の膠原病を併発している場合もあります。

痛みによって不眠となりストレスが溜まり、それがまた痛みを増強させる場合もあると考えられています。

死に至る病ではありません。線維筋痛症は男性よりも女性に多く、中高年の方に多い病気です。そのため自律神経失調症や更年期障害、不定愁訴など他の病気と診断されることも少なくありません。現在人口の1.66%、約200万人の患者がいるのではないかと疫学的に発表されています。（線維筋痛症友の会 HP より）



### 会場案内図



### ★問い合わせ・申し込み★

★お申込みの方は、**ハガキ**に  
参加者人数、参加者名、ご連絡先を  
お書添えの上、申込ください。  
定員になり次第、締切とさせていただきます。  
ご了承ください。

NPO 法人線維筋痛症友の会九州支部

住所：熊本市北区武蔵ヶ丘 2-16-28

TEL: 080-9404-0556

（つながらない場合は、おかけ直してください）

e-mail: kyushufms@yahoo.co.jp